

16 総合的な学習の時間

(1) 総合的な学習の時間の名称

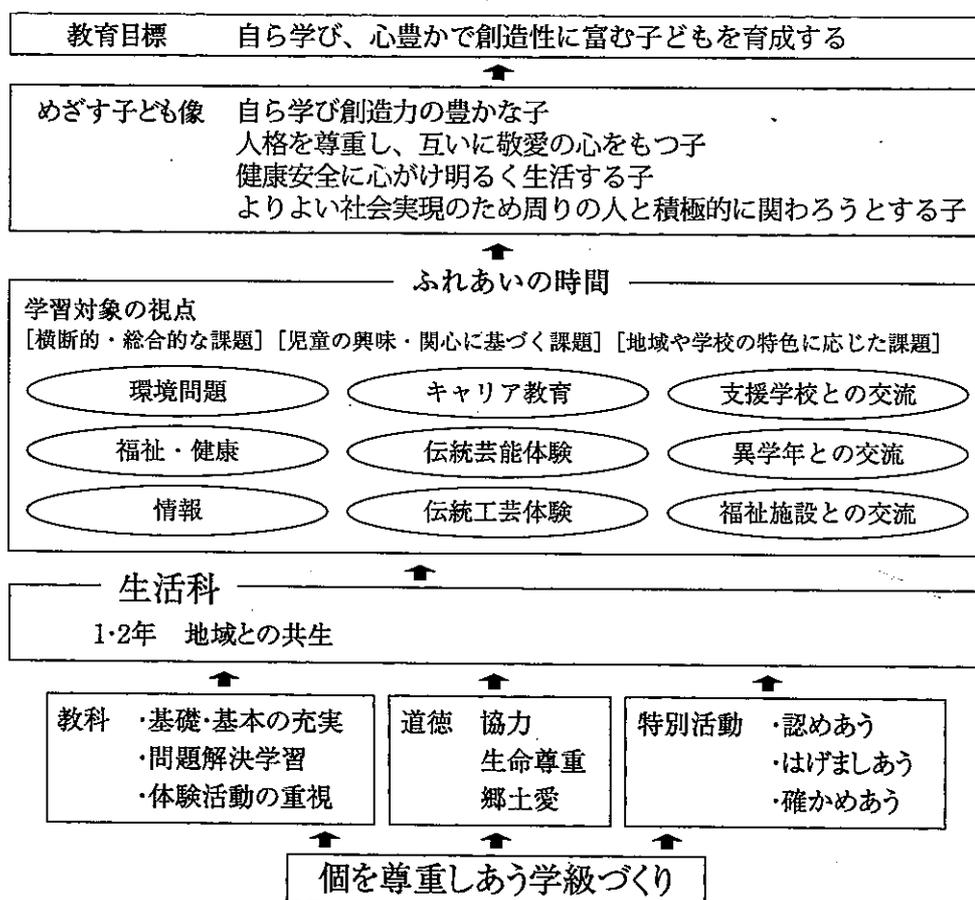
「ふれあいの時間」とする。

(2) 総合的な学習の時間のねらい

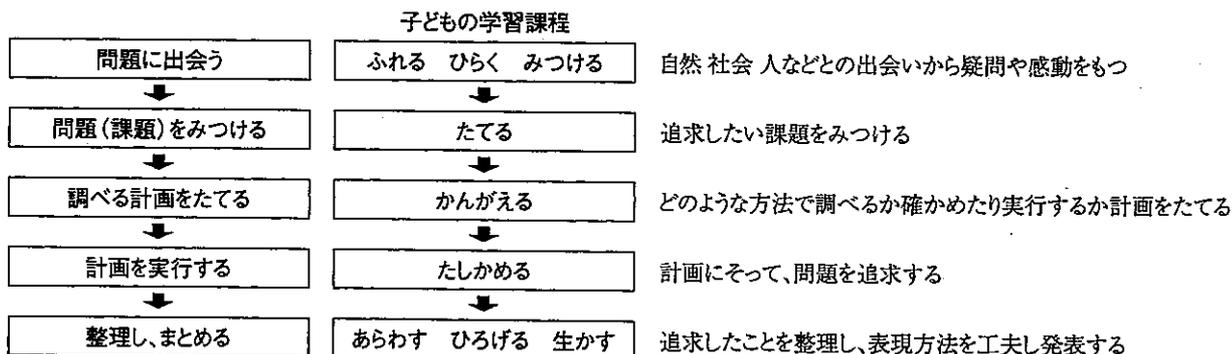
身近な自然・社会・人々に直接働きかける活動を通して、自ら学び、考え、主体的に判断して問題を解決する能力を育てる。

各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活に生かし、それらが総合的に働くようにする。

(3) 総合的な学習の全体計画



(4) 問題解決的な学習課程



(5) 具体的な目標

- ・地域の自然にかかわる活動を通して、四季の変化などに気づかせ、より一層愛着をもって、自然に接する。
- ・本校の子と分校の子の交流や、他学年との交流や、なかよし学級との交流を通して、お互いを理解し、思いやりの心とやさしさをはぐくむ。
- ・紀北支援学校の子と交流することによって、障害に対する正しい理解と認識を深め、より豊かな人間性を育てる。
- ・地域の人々との交流や、地域を調べる活動を通して、地域としての問題点を見つけたり、新しい視点で、地域を観るようにするとともに、自分自身の生活などについても考える。また、地域の人々の願いや歴史的遺産に触れる活動を通して、より一層自分達の住んでいる地域のことを理解する。
- ・各学年等で学んだ知識や技能などを相互に関連付け、他の教科領域などや日々の生活に生かせるよう、総合的に働くように年間計画を立て実行する。

(6) 学年目標

- 3年 課題を見つけ、生き生きと活動する
- 4年 自分で計画を立てて、生き生きと課題にとりくむ
- 5年 自分なりに計画を立てて、課題を追求し、互いに学び合う
- 6年 見通しをもって、課題を追求し、互いに学び合う

(7) 交流について

① 紀北支援学校との交流（4年生を中心として）

◎取り組み

○交流の場

イ. 4年生は紀北支援学校の児童と直接ふれあう「ふれあい交流」を行う。

ロ. 作品展を見学する

- ・夏休み後の作品展（安原小） 紀北支援学校より作品出品
- ・2月の作品展（紀北支援学校） 作品出品と観賞

② 学年間交流

◎取り組み

ペアー学年の活動

活動内容については、子どもの考え（アイデア、工夫など）を最大限に生かして相談しながら進めていく。

③ なかよし学級との交流

◎取り組み

年間を通して、なかよし学級の児童との交流を行う。